

美幌総合計画策定

『びほろ』みらいまちづくり会議

2025年11月26日

1. 前回の振り返り

(1)第2回 『びほろ』みらいまちづくり会議

開催日時:2025年10月23日(木)18時30分～20時

場所:保健福祉総合センター しゃきっとプラザ

この10年間の変化として、人口減少に伴う商店街のにぎわい消失、空き家空き店舗の増加、医療機関および医師の減少、交通利便性の低下、イベントの減少などの意見が出されました。

まちづくりの課題としても人口減少に関連することが多く、子育て支援の充実、若い世代の雇用創出、移住促進やUターンの促進、地域コミュニティの仕組みづくり、観光の推進、まちのブランディング、コンパクトシティの推進、財政の懸念が出されました。



(2)意見交換の結果概要

テーマ1:10年間での取り巻く社会変化についての主な意見

分類	主な内容	傾向・キーワード
人口減少地域構造	人口減少、少子高齢化、 子どもの減少、1世帯人数減	人口減少、高齢化、若者流出(全 グループから出されている)
商業／地域経済	商店街の衰退、飲食店減少、 空き店舗・空き家増加	中心部の空洞化、夜間のにぎわ い減少、空き家・空き店舗の増加
交通インフラ	JR無人化、バス路線減少、 移動手段の減少	交通利便性(足)の確保、空港ア クセスの確保(複数部会から出さ れている)
教育・学校	美幌高校の生徒減少、部活動縮小	子どもの減少、進学・就職で町外 流出
医療・福祉	病院減少、医師不足、診療科の限定	医療アクセスへの不安、 福祉職員の確保の必要性
社会環境・生活	物価高騰、ICT普及、働き方変化	スマホの普及、テレワークの増加、 個人化など
地域コミュニティ	自治会減少、イベント減少、 人のつながり希薄化	交流の減少、担い手不足とマンネ リ化、自治会の固定化
外国人 住民	外国人の増加	外国人が増えたが地域に溶け込 めていない

テーマ2:美幌町のまちづくりの課題の主な意見

分野	主な課題	関連キーワード・意見
人口減少／定住	人口減少対応、若者定着、Uターン促進	若者の働く場、住宅支援、子育て環境の充実
雇用促進 産業振興	働く場の確保、賃金水準の向上 起業支援	地元就職、農業・一次産業の後継者の確保、若者の起業支援
子育て・教育	乳幼児～高校まで切れ目ない支援、教育の柔軟化	子育て支援、学習環境の充実、部活動支援、発達支援
医療・福祉	医師・介護人材不足、高齢者支援充実	福祉のサービス格差 高齢化に対応したまち
交通・インフラ	公共交通の維持、モビリティの活用、インフラの老朽化対応	「モービー」の活用、バス路線の確保 下水道老朽化への対応
商業・中心市街地	シャッター街対策、施設の再生	空き店舗活用、コワーキングスペースのまちなかへの設置、KITENの連携
環境・エネルギー	気候変動対応、再エネ活用推進、ゴミ処理施設の活用	温暖化対策の推進、ごみの排熱利用 再生エネの導入」
観光・交流	美幌峠以外の観光資源づくり、滞在促進	まちなかの道の駅配置、観光ガイド育成、宿泊施設の充実
地域コミュニティ	担い手不足、若者参加、助け合い	まちづくり会議の常設、助け合いの仕組みづくり、ウェルビーイングの推進
行政・財政	行政の方針がわからない、人口減少のなか財政が不安	投資する力の低下

2. 美幌町まちづくりフォーラムでの 意見交換

(1) 美幌町まちづくりフォーラム

開催日時:2025年10月7日(火)18時30分～20時30分

場所:美幌町民会館

第7期総合計画策定に向け、計画を「町民主体」で取り組んでいくため、町民の総合計画策定の認知度向上やこれからの美幌町のまちづくりに対する考えを深めてもらうことを目的として実施しました。



(2)意見交換の概要

○美幌高校の存続

- 美幌高校が残っていてほしい

○若者の定着・活力を活かす

- 若者が希望を持てるまち
- 将来設計ができる、しやすい企業(就労先)
- 地域プレイヤーが生まれやすいまち
- 若者が未来に希望をもっている
- 自分のやりたいことを実現しやすくなってる、助けが多いまち

○多世代交流・コミュニティの維持

- 年代問わず挨拶ができる
- 地域の担い手がいる、最小限の労力で支えられる仕組みがある
- 老若男女など、属性が異なる人たちが個性を尊重して話し合える町
- 話し合ったり、コミュニケーションの拠点となる場がある

○支え合い・助け合いの仕組み

- 人と人が支え合えるまち
- 困っている人を地域で助け合えるまちづくり
- 高齢者が元気につながる機会がたくさんある町

○子育て支援・子どもの環境

- 子育てしやすいまち、子どもが安心して遊べるまち
- 地域で子育てできるまち
- 子どもがたくさんいるまち

○商店街・生活インフラの維持

- 買い物環境の維持
- 商店街を学生や町民がたくさん歩き、賑わっている
- スーパーなどの大きなお店は維持されている

○交通・住環境の整備

- 車がなくても出かけられる交通機関
- 空き家の撤去ができる補助がある
- コンパクトシティーとしてコミュニティーが広がる町づくり

○美幌らしさ・魅力の創出

- 美幌にしかないもの、目指して導入してくるもの
- 美幌といえばコレ!と自慢できるものをつくる

○景観・自然環境の保全

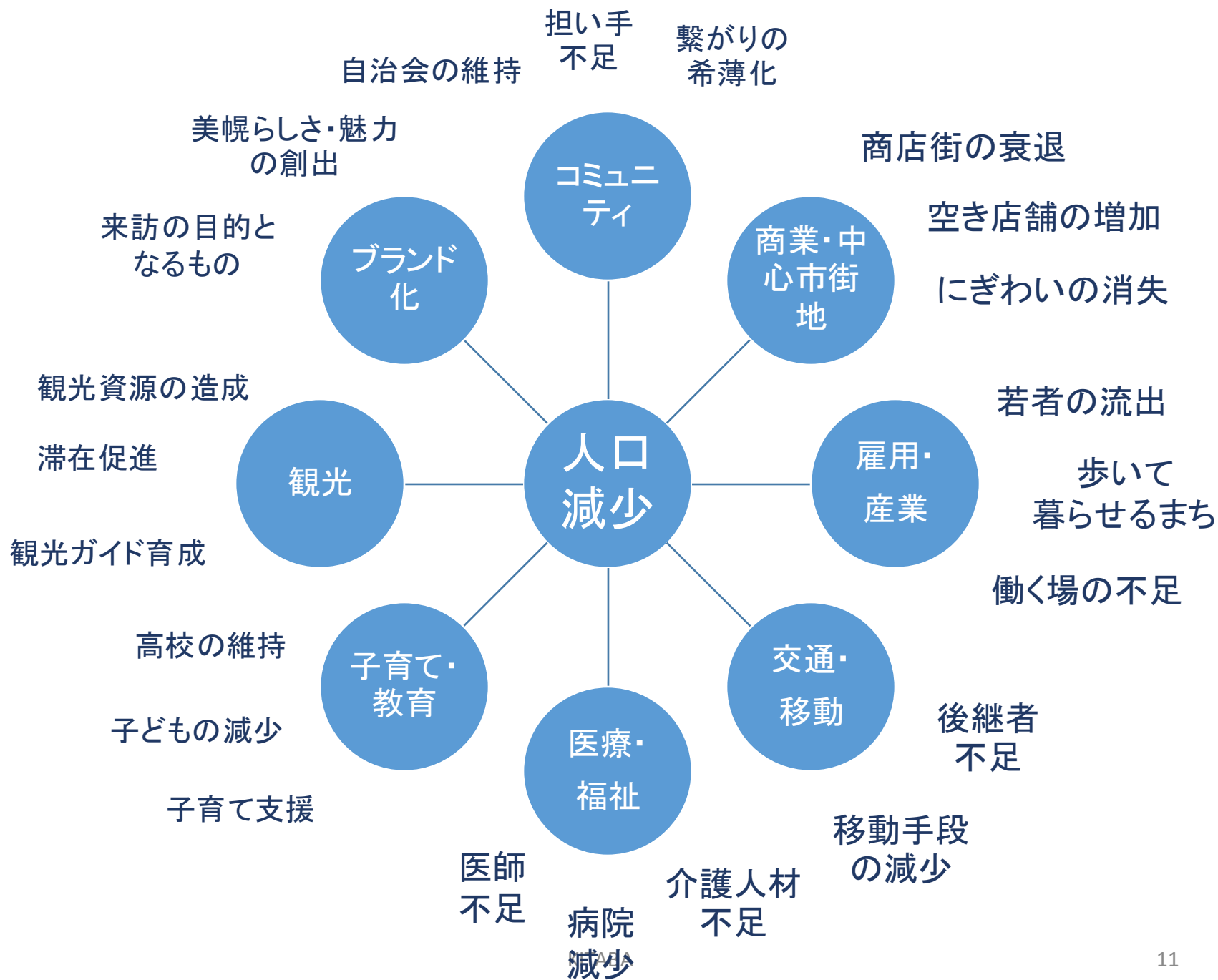
- キレイな町、景観や美幌の特色があるまち
- 美幌峠だけじゃなく町全体がきれい
- 自然を次世代へつなげるまち

○産業・雇用の活性化

- 最先端の技術者が集まる
- 飛行場や交通の要衝である特徴を生かす
- 農業DXをもっと進めていく
- 働く場として魅力的なまちに

○イベント・文化活動の充実

- イベント・文化活動の充実
- 人が集まるまち 観光、移住者が増える
- にぎわい、出会い、コミュニティがうまれるまち

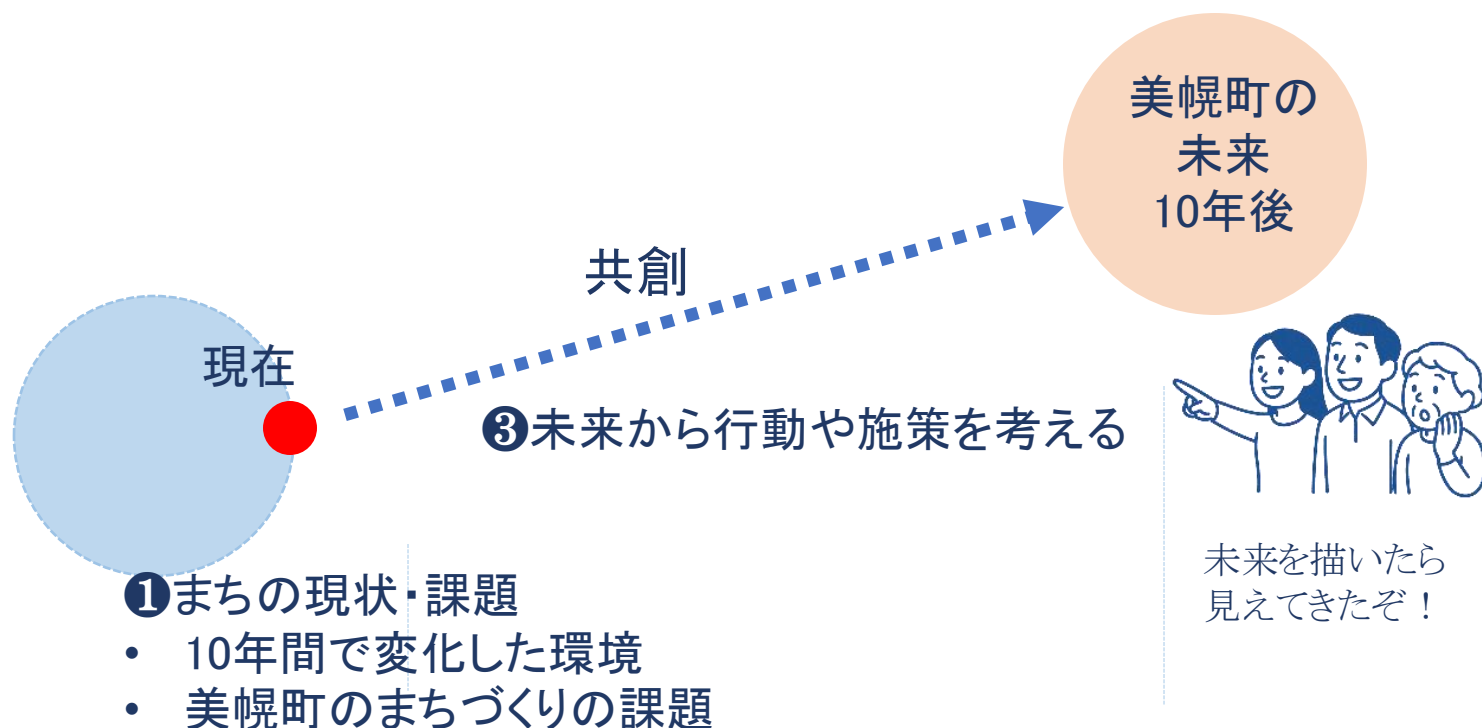


ワークショップ

今日のテーマ： 現状と課題を踏まえた美幌町の未来の姿とは？

①美幌町の未来の姿を考える

②現状と課題も考慮した未来の姿



今日のワークショップ

①これからの美幌町では、町民や来訪者によるどんなシーンが生まれているとよいのでしょうか？

- 各自が「美幌町のこれからの将来イメージ」として思うことを付箋に書いてください
- 書き終わったら『自己紹介』をしながら模造紙に付箋を貼ります
- 全員の付箋が貼り終わったら、出された意見を「分類」します
- 分類したものをしながら、意見交換をしてください

例えば...市街地に地元産の野菜販売所や宿泊型の農家レストランが並び、町を訪れる人々が道の駅から周遊し「美幌らしい」滞在を楽しんでいるといいな！



②10年後の美幌町の将来イメージはどんなものになると思いますか？

- 各自が思う10年後の美幌町の将来イメージを付箋に書いてください
- 書き終わったら模造紙に付箋を貼ります
- 全員の付箋が貼り終わったら、出された意見を分類します
- 分類したものをしながら、さらに話し合ってください

例えば...

美幌町の農業を生かし、さまざまな産業が盛んになっているまち！

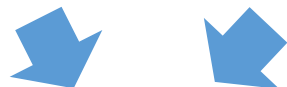


模造紙の
まとめ方の例

①これからの美幌町で生み出したいシーン

②10年後の美幌町の将来イメージ

若者が新しいことに
挑戦している 観光客がまちなかで
食事や買い物を楽しんでいる



人がつながり、新しいアイデア
や挑戦が生まれるまち

子どもたちが地元農家と
農業体験や食育が行われている



オンライン教育などで
質の高い学びが得られる



質の高い教育と体験で
美幌らしい学びがあるまち

農家レストランで
新鮮な美幌の野菜を楽しめる



豊かな自然や地域の力を
活かした持続可能なまち

3つ程度に
絞ってください！

グループでの話し合いのルール

①発言は1回、3分まで
長い話は印象残りません

②人の意見・アイデアを否定しないようにしましょう

③今日はたくさんのアイデアを出すことが目的です

グループ発表

主な意見を紹介してください

- これからの美幌町で生み出したいシーンとしては〇〇と〇〇があげられました
- 美幌町の将来イメージとしては「〇〇と〇〇・・・」があげられました
- 分類したタイトルを見ながら簡単に紹介してください
- 付箋を1枚ずつ紹介するのは時間の関係から避けてください